



もり
この森林を守りたい
～ご寄附のお願い～

北大研究林では、総面積7万ヘクタールの広大な森林において
森林の再生、二酸化炭素の吸収、生物多様性・生態系の保全活動を実行する仕組みとして
「北の森林プロジェクト」を創設いたしました。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
森林圏ステーション 北管理部
〒096-0071 北海道名寄市徳田250
kita-pro@fsc.hokudai.ac.jp



氷点下30℃の森林（雨竜研究林）



天空の森林（中川研究林）



婚姻色のイトウ（天塩研究林）

北海道大学は、道内を中心に天塩・中川・雨竜・札幌・苫小牧・檜山・和歌山の計7箇所、
総面積約700km²（70,000ha：わが国の国土面積の約500分の1）の研究林を所有しています。
この、大学の所有としては世界一の規模を誇る野外フィールドは、原生林を含む森林や河川、希少種を含む多様な動植物種を内包する貴重な生態系です。

1901年（明治34年）の創設以来、北海道大学が掲げる基本理念「フロンティア精神」のもと、
フィールドを最大限に活用した幅広い分野の教育・研究を推進しています。

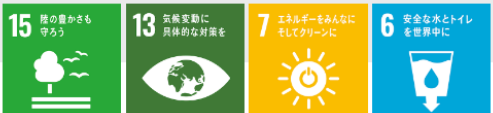
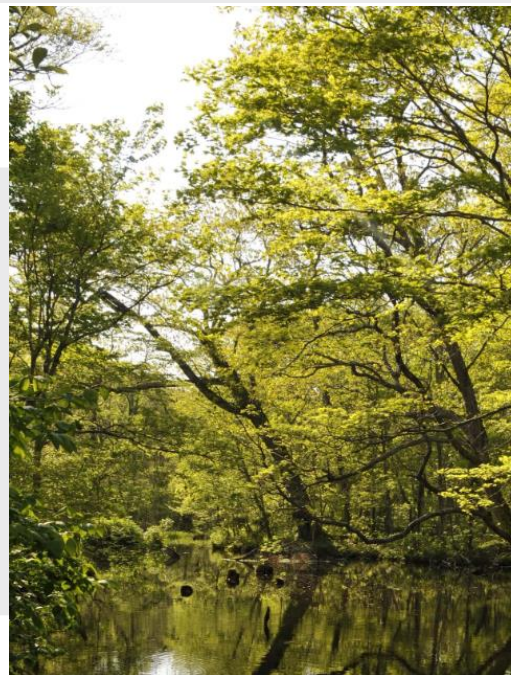
森林の存在は人類や他の動植物が生存するうえで 重要な役割を担っています。

～ご寄附のご案内とお願い～

北大研究林では、広大な森林フィールドを活用して、教員のほか、技術職員、森林技能職員を含むスタッフが、森林の再生・保全およびそれらに関わる教育・研究を行っています。

「北の森林（もり）プロジェクト」は、これらの活動を通して、森林の持つ、二酸化炭素の吸収や生物多様性・生態系保全のはたらき、地域資源の有効活用など、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の多くの目標への貢献を発展させる取り組みです。

本プロジェクトの趣旨をお返いただき、北海道大学が進める森林の教育・研究活動にお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。



<https://kitanomori.fsc.hokudai.ac.jp/>